



指導能力の高い教員を目指し、技能と理論をバランスよく習得する。

体育学、学校保健、運動学、保健体育科教育学で構成されたカリキュラムで、専門知識・技能を身に付けます。

小学校教科の指導力に加えて、心と体への理解促進に努める小学校教員を目指します。

中学校教員養成を主体としつつ、今後展開が予想される中高一貫教育に対応しうる教員を養成します。



水泳(臨海実習)



初等体育科教育法



ダンス

4年間の学び

～リアルな授業実践から学ぶ～

保健体育専修では、指導能力の高い教員を目指した「理論」と「実践」を学びます。理論では、歴史学、心理学、社会学、哲学といった体育学をはじめ、力学、生理学、コーチング学を含んだ運動学や学校保健など幅広く学びます。体育実技では、学校体育で行われる実技領域(体づくり、器械、水泳、陸上、球技、ダンス、武道)の授業を開講し、発達段階に応じた指導法を学修します。保健体育科教育学では、体育授業の教材や内容を紹介し、実際の事例と照らし合わせながら学びを深めます。一例として、2年生の授業「初等体育科教育法」では附属名古屋小中学校体育館と保健体育棟講義室をつなぎリアルタイムで学び合い、鮮度の高い授業を展開します。

取得できる免許

〔卒業要件に含める免許状〕

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状(保健体育)

〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭一種免許状(保健体育)

〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

高等学校教諭一種免許状(保健体育)
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 保健体育専修3年
愛知県立豊田西高等学校出身

運動が得意な子も、苦手な子も 皆が運動を楽しみ、心身の健康に つながる指導を目指したい。

「体育科教育法」の授業では、先生の実践例を参考に授業づくりに取り組みました。運動能力には個人差があるので、皆が楽しめる授業をするにはどうすべきか、仲間と意見を出し合い考える過程は、新たな気づきを得る貴重な経験でした。本専修では、現場で役立つスキルや指導法を学ぶ授業が充実しています。さらに、野外活動や遠泳、ダンス公演会など、自ら楽しんで学びを実践できる機会もあります。子どもの運動への興味を引き出し、心身の健康を支援できるよう、さらに学びを深めていきたいと思います。

■ 2024年 2年次後期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等生活科教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等保健体育科教育法CⅠ	
2時限	初等社会科教育法A		学校体験活動Ⅰ	体育心理学	道徳教育の理論と方法
3時限	運動処方論	学校教育におけるICT活用	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	衛生学・公衆衛生Ⅰ	
4時限					体育社会学Ⅰ
5時限					

